

## 製品名: ヒト Splunc2 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM81099

研究使用のみ

### 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	27kDa

### 抗原情報

遺伝子名	human Splunc2
別名	BP1FA2; PSP; SPLUNC2; C20orf70; bA49G10.1
遺伝子 ID	140683.0
SwissProt ID	Q96DR5
免疫原	大腸菌で発現したヒト Splunc2 の精製された組み換え断片。

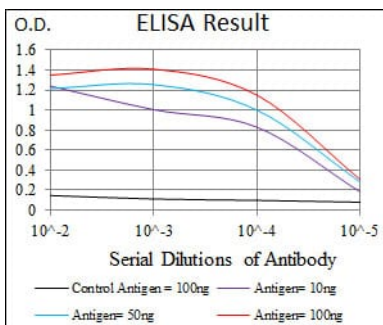
### 背景

SPLUNC2 は PLUNC ファミリーの一員であり、2つの 5'非コードエクソンを用いた選択的スプライシングを受けることから、選択的プロモーターによって制御されていると考えられます。口腔内には複数の SPLUNC2 アイソフォームが存在し、これらのタンパク質

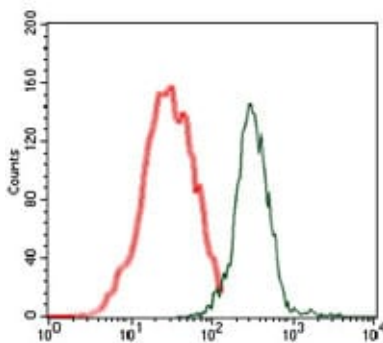
は異なる組織で異なる制御を受け、自然免疫応答において機能している可能性を示唆しています。粘液性表皮癌の粘液栓、粘液細胞、中間細胞は LPLUNC1 および SPLUNC2 陽性でしたが、表皮細胞と明細胞からなる領域は全ての PLUNC に対して陰性でした。乳頭嚢胞腺癌は全ての PLUNC に対して陽性でした。

## 研究分野

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



ヒト Splunc2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した MCF-7 細胞のフローサイトメトリー分析。